

栃 木

宇都宮支局

〒320-0027

宇都宮市塙田
1-3-9☎ 028・621・3611
FAX 028・650・1559
utsunomiya@
sankei.co.jp

広告 028・622・5591

購読申し込み

0120・81・2950

配達・集金

0120・34・4646

紙面・記事

03・3275・8864

Web

http://sankei.jp.msn.
com/region/region.htm

あすのこよみ

(6日)

旧5月5日

《先負》



交通網は「町」の基本

地域の公共交通が抱える課題の解消やリーダー的取り組みを後押しする人材を育成するため、国土交通省が制定した「地域公共交通マイスター」の初代に今年、選定された。全国13人の中で本県からはただ1人だった。

「初代マイスター」には、自治体関係が5人、鉄道やバス、タクシーといった事業者関係が5人、その他のNPO法人が3人選ばれた。その他の3人のうち2人は福祉が専門なので、交通そのものを専門にしているのは私だけです」と自負する。

そもそも今回のマイスター選定のきっかけは、大学の教師として生活の拠点を置くようになった岡毛地域で、佐野市をはじめ旧藤岡町、群馬県の太田市や館林市などの町づくり、地域づくりの手伝いをしてきたことにある。

なぜ地域づくりを支援してき

初代地域公共交通マイスター

為国孝敏さん (52)

たかというと、「町づくりは面倒を見る人がいないと、長続きしない」という経験則にある。一時の盛り上がりで町づくりを始めても、民間と行政をつなぐ人や活動を支える専門家がいないと、活動は立ち消えになることが多い。

町づくりに首を突っ込むようになった最初は、特定非営利活動促進法(NPO法)が制定された平成10年、足利市で県内第1号のNPO法人を立ち上げたとき、市の区画整理事業に住民の意向を反映させるための「手伝い」を知り合いから頼まれたことだった。

「地域のこともよく分からない中で、市民からアイデアを提案しよう、理解を深めるため初めての試みだった住民説明会を開いた」と当時を振り返る。

それから各地の町づくりにかわるようになり、佐野市では旧田沼町、葛生町との合併に際し、バス路線の見直しと市営バスの実験運行に案を出し、住民と行政の橋渡し役を務めるなどした。公共交通機関の設置、体系見直しではデマンド交通や新規路線のスリム化など地域に合った方法で、その地域に本当に必要な公共交通を根付かせてきた。

「公共交通は電気やガスと同じインフラであり、町づくりの基本として整備すべきもの」というのが、大学で交通工学を学び、バス交通を研究、大学教師になる前に勤めていた土木学会で博士号を取得したのが「鉄道」研究という公共交通専門家の言だ。

「自分の専門が、大学にいと役に立っているのか分からないが、現場に飛び込み、住民と一緒に町づくりにかかると、理屈だけではなく、いろんな質問が総合的に必要なことが分かってくる」と、現場第一主義を語る。

(高橋健治)

